

科目名	衛生学		
担当教員名	佐藤 一郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ねらい：主に感染症について講義する。感染症を防ぎ、健やかな日々を送るためには知識や経験に基づく適切な予防が重要である。特に、養護教員を目指す学生は、微生物学について幅広い知識を必要とする。そのため、感染症予防のため発生要因 ( 感染源、感染経路、感受性者 )、病原微生物の形態、性質、それらによってもたらされる感染症について講義する。これにより、感染症に対する予防などを行うための基礎的な知識を身につけることを目標とする。

#### 内容

1	感染症に関する基本的理解
2	感染症成立のための三要因
3	免疫
4	細菌1
5	細菌2
6	ウイルス
7	真菌
8	原虫
9	寄生虫
10	感染症の診断・治療・予防・防御
11	感染症各論1
12	感染症各論2
13	感染症各論3
14	感染症の疫学
15	まとめ

#### 評価

評価：毎回実施する豆テスト30%、期末試験70%とし、総合評価60%以上を合格とする。

#### 授業外学習

事前学習：事前に当該単元や関連書籍を通読しておくことが望ましい。

事後学修：何を理解し、何が理解できなかったのか整理し、次回講義時に質問できるようにまとめる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】本田武司 ( 編 ) はじめの一步のイラスト感染症・微生物。羊土社。ISBN978-4-7581-2023-4。

【参考書】日本学校保健会 ( 編 ) 学校において予防すべき感染症の解説。丸善出版。ISBN978-4-903076-11-9。

阿部章夫 ( 著 ) もっとよくわかる！感染症 病原因子と発症のメカニズム。羊土社。ISBN978-4-7581-2202-3。

池内昌彦 他「エッセンシャルキャンベル生物学」丸善。ISBN: 978-4-621-08399-4。など。

科目名	教職入門B		
担当教員名	松岡 敬明、日出間 均		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(K)-教職課程(K)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

教育職員免許法及び同施行規則に定められた教職に関する科目のうち「教職の意義等に関する科目」に当たります。

#### 科目の概要

教員の職務とは何かを様々な視点から学びます。

- ・教職の意義及び教員の役割について
- ・教員の職務内容について(研修、服務及び身分保障等を含む)
- ・進路選択に資する各種の機会の提供等

#### 学修目標(=到達目標)

教職についての基礎知識を習得するとともに、教職の意義と教員の役割について理解を深めるとともに、教職への意欲を高める。

#### 内容

教職の意義、教員の役割、職務内容、研修・研究等について理解を深め、自らの教師像を描くとともに教育観の基礎を培う。

1	オリエンテーション(社会と学校教育)
2	教職の意義と期待される教師像
3	専門職としての教員と人権教育の推進
4	基本的な教育法規
5	教育校務員の服務
6	教育校務員の研修
7	学習指導要領について
8	教育課程の編成と実施
9	学力向上と授業改善
10	学校運営と校務分掌
11	健康・安全指導の実際
12	健全育成・生徒指導の実際
13	学校・家庭・地域社会の連携
14	教員の育成と採用
15	まとめ

#### 評価

授業への参加度と毎時間提出する小レポート(40点)、最終試験(60点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】事前に課題を提示します。教科書や参考図書などを参照し、問題解決討議や事例研究に必要な情報を整理し、これをもって授業に臨むこと。

【事後学修】修得した知識や問題解決技法等で得た知見を記録するとともに、授業で取上げた関連事項や説明を参考にし、課題についてさらに考究し、レポートにまとめる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中学校学習指導要領解説 総則編(文部科学省)

【推薦書】

【参考図書】

科目名	教職入門B		
担当教員名	松岡 敬明、日出間 均		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

教育職員免許法及び同施行規則に定められた教職に関する科目のうち「教職の意義等に関する科目」に当たります。

#### 科目の概要

教員の職務とは何かを様々な視点から学びます。

- ・教職の意義及び教員の役割について
- ・教員の職務内容について(研修、服務及び身分保障等を含む)
- ・進路選択に資する各種の機会の提供等

#### 学修目標(=到達目標)

教職についての基礎知識を習得するとともに、教職の意義と教員の役割について理解を深めるとともに、教職への意欲を高める。

#### 内容

教職の意義、教員の役割、職務内容、研修・研究等について理解を深め、自らの教師像を描くとともに教育観の基礎を培う。

1	オリエンテーション(社会と学校教育)
2	教職の意義と期待される教師像
3	専門職としての教員と人権教育の推進
4	基本的な教育法規
5	教育校務員の服務
6	教育校務員の研修
7	学習指導要領について
8	教育課程の編成と実施
9	学力向上と授業改善
10	学校運営と校務分掌
11	健康・安全指導の実際
12	健全育成・生徒指導の実際
13	学校・家庭・地域社会の連携
14	教員の育成と採用
15	まとめ

#### 評価

授業への参加度と毎時間提出する小レポート(40点)、最終試験(60点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】事前に課題を提示します。教科書や参考図書などを参照し、問題解決討議や事例研究に必要な情報を整理し、これをもって授業に臨むこと。

【事後学修】修得した知識や問題解決技法等で得た知見を記録するとともに、授業で取上げた関連事項や説明を参考にし、課題についてさらに考究し、レポートにまとめる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中学校学習指導要領解説 総則編(文部科学省)

【推薦書】

【参考図書】

科目名	教育学概論 B		
担当教員名	志賀 廣夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

今日的な状況からあぶり出された子供の課題を創造的に克服できる学校づくりをめざす。

#### 科目の概要

本授業は人間の発達について基礎的な知識を習得し、教育のあり方を主体的に捉え直していく。そして、新たな創造的な教育を考えていく。具体的には 子供にとって居心地のよい「学校づくり」「学級づくり」の研究を追求する。 学校教育現場で働く教職員が子供を育てる活動や指導が充分に出来る環境の研究をする。

#### 学修目標 (= 到達目標)

教育実態に創造的に参加できる能力や知識を育て、子供の実態を活かしながら自治と学びで学校を豊かにしていく視点を育てる。

内容	
1	ガイダンス
2	子供の現実と学校(貧困・学力格差・体罰・いじめ・不登校)
3	子供をどう指導するか。
4	子供の指導と管理
5	学力・体罰・ゼロトレランス
6	教師と子供をつなぐ(子供の話を聞くととは)
7	子供と子供をつなぐ(教師の役割とは)
8	思春期の子供の实態と指導
9	学校経営をめざした学級経営
10	若い教師と学級経営・学校経営
11	子供の課題を改善する指導(あれた学級の指導)
12	職場の中の共同
13	保護者のクレームを創造的に学校経営に生かす
14	学校経営を豊かにする関係機関との連携
15	まとめ

#### 評価

授業の参加度・授業シート50% 筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

再試験はない。

#### 授業外学習

【事前準備】前回の授業シートを読んでおく。

【事後学修】教育や子供にかかわる新聞記事を読む。

授業シートを保存する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

毎回授業シートを配布する。教科書は使用しない

### 【推薦書】

子ども集団づくり入門（明治図書）

### 【参考図書】

かんたんな48秘密指導法（民衆社）・生活指導（高文研）誌・学校の条件（青木書店）



科目名	教育学概論B		
担当教員名	津田 園女		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:人間生活学部教職科目 必修科目。

科目の概要

1. 前半:戦後教育改革の概要を辿り(臨教審の4区分に依る)、それに関連した様々な論考やエッセイを共有しながら、「ゆとり教育 教育基本法改正 現行の教育再生の試み(脱ゆとり含む)」へと至った背景を理解し、考察を深める。
2. 後半:教育問題の噴出を受けて、1980年代以降、出現した「フリー・スクール」に焦点を当て、公教育における「教育観」や「人間観」との差異、および、国内外のオルタナティブ・スクールの現状と課題を理解し、考察を深める。

学修目標(=到達目標)

本科目では、戦後、日本の教育制度が、いかなる経緯を経て成立し、何を不得、何を失い、現在、どの方向にシフトしようとしているのか、その現状を理解した上で、自らが「巻き込まれて」いる教育制度と、それによって、意図せずして獲得した「教育観」や「学校観」、「人間観」を相対化し、教育や「人間形成」に関する考察を深め、適宜、自分の「考え」を表現することを目指す。

(時々、授業時に、グループ・ディスカッションや、ミニ・レポートを組み込む予定。)

内容	
1	イントロダクション&アイスブレイク(グループ・ワーク)
2	戦後教育改革 1945~1952年(昭和20~27年)
3	戦後教育改革 1952年~1971年(昭和27~46年)
4	戦後教育改革 1971年~1984年(昭和46~59年)
5	戦後教育改革 1984年~2000年(昭和59年~平成12年)、及び、その後。
6	グループ・ディスカッション、あるいは課題発表
7	日本におけるフリー・スクールの出現と受容(「いじめ」と「不登校」を背景に)
8	日本におけるフリー・スクールの「人間観」「教育観」(「東京シューレ」を中心に)
9	映像(『静かなる革命~日本のフリースクール~』+『東京シューレ 紹介DVD』)
10	グループ・ディスカッション、あるいは、課題発表
11	世界の自由教育(オルタナティブ・エデュケーションとは何か?)
12	映像(米英のフリー・スクール)
13	映像(仏伊の自由教育:『フレネ学校の子どもたち』+『レッジョ・エミリア市の挑戦』)
14	グループディスカッション
15	まとめ

評価

課題レポート50点 授業参加(グループワーク含む)30点、リアクション・ペーパー20点の合計100点

## 授業外学習

【事前準備】教育の時事について、各自、意識してアンテナを張り、情報収集しておくこと。

文部科学省白書（HP）を参照し、一連の教育改革の核心を掴んでおくこと。

【事後学修】授業で扱ったテーマを通して、自分はどう考えるのか、言葉や文章で外在化（表現）できるよう、整理しておくこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業時に指示します。

### 【推薦書】

大田堯『教育とは何かを問い続けて』岩波新書、1983年

村井実『日本教育の根本的変革』川島書店、2013年

奥地圭子『不登校という生き方 教育の多様化と子どもの権利』2005年

### 【参考図書】

伊藤茂樹編著 リーディングズ 日本の教育と社会 『いじめ・不登校』日本図書センター、2007年

科目名	教育心理学B		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(K)-教職課程(K)		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

人間発達心理学の専門科目として、初学者を対象として、学校教育に活用しうる心理学的知識の習得を目指す科目である。

教職に関する科目のうち、教育の基礎理論についての理解を深める科目である。

#### 科目の概要

教職志望の初学者を主な対象として、学習の過程、および児童生徒の心身の発達について、教育心理学的な知見を学ぶとともに、学校教育現場における具体的な問題についての理解を深める。障害をもった子どもたちの発達、および特別な支援のあり方についても取り扱う。児童・生徒であった、そして学生である受講生に対して、「教える」、「学ばせる」、「学びを支援する」という「教師の立場」から、教育・指導や学習活動を客観的かつ分析的な視点からとらえようとする態度を育むことを目指す。

#### 学修目標

教育心理学的な考え方や知識に基づいて、学校教育における学習活動の客観的に理解することができる。さらに、よりよい学習活動を展開するための工夫や特別な支援を必要とする子どもたちの学習活動のあり方について、心理学的知見に基づいて具体的に考えることができるようになる。

### 内容

1. 教育心理学と学校教育
2. 学習の動機づけ(1) 動機づけのメカニズム、内的欲求
3. 学習の動機づけ(2) 内発的動機づけと外発的動機づけ
4. 学習の基礎理論
5. 教授学習における学習理論
6. 協同学習の理論と実践
7. 学級の心理学
8. 学習の個性化、個別的ニーズへの対応
9. 教育評価
10. 発達(1) 発達の一般的特徴、発達を規定する要因
11. 発達(2) 発達段階と発達課題
12. 学習者の特性理解(1) 知的能力の発達と測定
13. 学習者の特性理解(2) パーソナリティの理論と測定
14. 学習者の特性理解(3) 障がいに応じた特別支援教育
15. 学習のまとめと確認

### 評価

筆記試験：90点，授業内課題10点の計100点で、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】学習予定の章を読んでおくこと

【事後学修】授業で使用・記入したプリントをもとに、学習内容をノートにまとめ直す

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教職ガイダンス等で指示します。

科目名	教育心理学B		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(K)-教職課程(K)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

## ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

### 科目の性格

人間発達心理学の専門科目として、初学者を対象として、学校教育に活用しうる心理学的知識の習得を目指す科目である。

教職に関する科目のうち、教育の基礎理論についての理解を深める科目である。

### 科目の概要

教職志望の初学者を主な対象として、学習の過程、および児童生徒の心身の発達について、教育心理学的な知見を学ぶとともに、学校教育現場における具体的な問題についての理解を深める。障害をもった子どもたちの発達、および特別な支援のあり方についても取り扱う。児童・生徒であった、そして学生である受講生に対して、「教える」、「学ばせる」、「学びを支援する」という「教師の立場」から、教育・指導や学習活動を客観的かつ分析的な視点からとらえようとする態度を育むことを目指す。

### 学修目標

教育心理学的な考え方や知識に基づいて、学校教育における学習活動の客観的に理解することができる。さらに、よりよい学習活動を展開するための工夫や特別な支援を必要とする子どもたちの学習活動のあり方について、心理学的知見に基づいて具体的に考えることができるようになる。

## 内容

1. 教育心理学と学校教育
2. 学習の動機づけ(1) 動機づけのメカニズム、内的欲求
3. 学習の動機づけ(2) 内発的動機づけと外発的動機づけ
4. 学習の基礎理論
5. 教授学習における学習理論
6. 協同学習の理論と実践
7. 学級の心理学
8. 学習の個性化、個別的ニーズへの対応
9. 教育評価
10. 発達(1) 発達の一般的特徴、発達を規定する要因
11. 発達(2) 発達段階と発達課題
12. 学習者の特性理解(1) 知的能力の発達と測定
13. 学習者の特性理解(2) パーソナリティの理論と測定
14. 学習者の特性理解(3) 障がいに応じた特別支援教育
15. 学習のまとめと確認

## 評価

筆記試験：90点，授業内課題10点の計100点で、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】学習予定の章を読んでおくこと

【事後学修】授業で使用・記入したプリントをもとに、学習内容をノートにまとめ直す

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教職ガイダンス等で指示します。

科目名	学校制度論 B		
担当教員名	黒瀬 任通		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

この科目は、中学校・高校の教諭の免許状、養護教諭の免許状、栄養教諭の免許状等を取得希望のある学生にとっては、免許取得のための「教職に関する科目」の一つで「必修科目」である。

#### 科目の概要

- 1 毎回の授業ごとに、プリントやノートにまとめたり、考えを記述したりして、学校教育の制度について関係法規を基に、学校制度について自分の考えを持つ。
- 2 基本的な学校関係法規についての学修を通して、我が国の学校教育に関する制度や学校教育の実施等についての基本的事項について理解を深めていく。

#### 学修目標 (= 到達目標)

- 1 学校教育に関する基本的な法規と制度について理解する。
- 2 教育法規に関する学習を通して、日本の教育制度についての自分の考えが持てる。

#### 内容

1	ガイダンス。 教育の目的及び理念等に関する事項
2	教育の実施に関わる基本的なこと等に関する事項
3	学校の種類・設置等に関する事項
4	教育行政機関のしくみ等に関する事項
5	学校教育の目的・目標等に関する事項
6	学習指導要領等に関する事項
7	教育課程の編成等に関する事項
8	教科書(教科用図書)等の教材に関する事項
9	教職員の組織・職務等に関する事項
10	教職員の人事・服務等に関する事項
11	就学・入学等に関する事項
12	学級編制等に関する事項
13	保健・安全・給食等に関する事項
14	学校運営等に関する事項
15	まとめ

#### 評価

授業への参加度(取り組み)30%、小まとめ・小テストなど20%、筆答試験等

50%などにより総合的に評価するものとし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】 『必携 教職六法』を使って、基本的な法規などに当たるとともに、主な法規ページにインデックスをつけるなどして、引きやすくなるよう工夫しておく。
- 【事後学修】 授業で使用したノートや参考資料などを見直すことや、授業で取り扱い学修した法規等を「教職六法」で再度読み直すことなどに取り組む。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】 『必携 教職六法』 若井 彌一 監修 共同出版
- 【推薦書】 「図解・表解 教育法規」坂田 仰 ・ 河内 祥子 他 共著 教育開発研究所
- 【参考図書】 「教育法規便覧」 窪田 真二 ・ 小川 友次 著 学陽書房



科目名	学校制度論 B		
担当教員名	黒瀬 任通		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

この科目は、中学校・高校の教諭の免許状、養護教諭の免許状、栄養教諭の免許状等を取得希望のある学生にとっては、免許取得のための「教職に関する科目」の一つで「必修科目」である。

#### 科目の概要

- 1 毎回の授業ごとに、プリントやノートにまとめたり、考えを記述したりして、学校教育の制度について関係法規を基に、学校制度について自分の考えを持つ。
- 2 基本的な学校関係法規についての学修を通して、我が国の学校教育に関する制度や学校教育の実施等についての基本的事項について理解を深めていく。

#### 学修目標 (= 到達目標)

- 1 学校教育に関する基本的な法規と制度について理解する。
- 2 教育法規に関する学習を通して、日本の教育制度についての自分の考えが持てる。

#### 内容

1	ガイダンス。 教育の目的及び理念等に関する事項
2	教育の実施に関わる基本的なこと等に関する事項
3	学校の種類・設置等に関する事項
4	教育行政機関のしくみ等に関する事項
5	学校教育の目的・目標等に関する事項
6	学習指導要領等に関する事項
7	教育課程の編成等に関する事項
8	教科書(教科用図書)等の教材に関する事項
9	教職員の組織・職務等に関する事項
10	教職員の人事・サービス等に関する事項
11	就学・入学等に関する事項
12	学級編制等に関する事項
13	保健・安全・給食等に関する事項
14	学校運営等に関する事項
15	まとめ

#### 評価

授業への参加度(取り組み)30%、小まとめ・小テストなど20%、筆答試験等

50%などにより総合的に評価するものとし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】 『必携 教職六法』を使って、基本的な法規などに当たるとともに、主な法規ページにインデックスをつけるなどして、引きやすくなるよう工夫しておく。
- 【事後学修】 授業で使用したノートや参考資料などを見直すことや、授業で取り扱い学修した法規等を「教職六法」で再度読み直すことなどに取り組む。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】 『必携 教職六法』 若井 彌一 監修 共同出版
- 【推薦書】 「図解・表解 教育法規」坂田 仰 ・ 河内 祥子 他 共著 教育開発研究所
- 【参考図書】 「教育法規便覧」 窪田 真二 ・ 小川 友次 著 学陽書房

科目名	教育課程論 B		
担当教員名	曾 貧		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、教育職員免許法に定められた「教育課程及び指導法に関する科目」のうち、もっとも最に掲げられている「教育課程の意義及び編成の方法」について学修します。

教員を目指すみなさんが2年生前期に受講し、これから勉強していく各教科(英語・国語など)、領域(道徳・特別活動など)等の指導法に関する科目がそれぞれどのように影響し合い、子どもたちの学習経験を実際に創りあげていくのかを考えることとなります。1年生で学習する「教育学概論」「教職入門」に引き続き学ぶ科目です。このあとは、この科目の学習を生かして、各科目ごとの「教科教育科目」「教育実習」を学んでいくこととなります。

各学校ごとに編成される教育課程の意味がわかること、教育課程と授業との関わりについての意味がわかること、教育課程と児童の学習に関する基礎理論を理解すること、がねらいです。

#### 内容

1. これからの時代における教育課程
2. 教育の目的と方法
3. 教育方法の基礎理論
4. 学習理論の展開
5. 問題解決学習の方法
6. 学習形態と学習指導
7. 教育課程の編成
8. 学習指導要領と教育課程
9. 学習指導要領の変遷
10. 生活科と理科における内容構成
11. 現行学習指導要領の特徴
12. 生活科と社会科における内容構成
13. 授業における教師の課題 ゆさぶり
14. 授業における教師の課題 誤答
15. まとめ

#### 評価

個別学習・組織学習票(20点)、課題研究(80点)とし、総合評価60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当章を予め読み、概要をまとめ、疑問点を整理し、講義に持参します。

【事後学修】班発表の内容や班討論の内容を整理し、予習と引き比べながら振り返りレポートを作成します。次回の講義の際、持参します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】松田稔樹,星野敦子,狩野浩二,津吹卓『自ら学び考える教職教養 教育課程・制度・法規』学文社、その他配付資料を使います。

【推薦書】斎藤喜博 『授業の展開（新装判）』 国土社

横須賀薫 『授業の深さをはかるもの』 教育出版

箱石泰和編 『授業 = 子どもとともに探求する旅』 教育出版

【参考図書】横須賀薫編 『授業研究用語辞典』 教育出版 他、教室で随時紹介します。

科目名	教育課程論 B		
担当教員名	曾 貧		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、教育職員免許法に定められた「教育課程及び指導法に関する科目」のうち、もっとも最初に掲げられている「教育課程の意義及び編成の方法」について学修します。

教員を目指すみなさんが2年生前期に受講し、これから勉強していく各教科(英語・国語など)、領域(道徳・特別活動など)等の指導法に関する科目がそれぞれどのように影響し合い、子どもたちの学習経験を実際に創りあげていくのかを考えることとなります。1年生で学習する「教育学概論」「教職入門」に引き続き学ぶ科目です。このあとは、この科目の学習を生かして、各科目ごとの「教科教育科目」「教育実習」を学んでいくこととなります。

各学校ごとに編成される教育課程の意味がわかること、教育課程と授業との関わりについての意味がわかること、教育課程と児童の学習に関する基礎理論を理解すること、がねらいです。

#### 内容

1. これからの時代における教育課程
2. 教育の目的と方法
3. 教育方法の基礎理論
4. 学習理論の展開
5. 問題解決学習の方法
6. 学習形態と学習指導
7. 教育課程の編成
8. 学習指導要領と教育課程
9. 学習指導要領の変遷
10. 生活科と理科における内容構成
11. 現行学習指導要領の特徴
12. 生活科と社会科における内容構成
13. 授業における教師の課題 ゆさぶり
14. 授業における教師の課題 誤答
15. まとめ

#### 評価

個別学習・組織学習票(20点)、課題研究(80点)とし、総合評価60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当章を予め読み、概要をまとめ、疑問点を整理し、講義に持参します。

【事後学修】班発表の内容や班討論の内容を整理し、予習と引き比べながら振り返りレポートを作成します。次回の講義の際、持参します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】松田稔樹,星野敦子,狩野浩二,津吹卓『自ら学び考える教職教養 教育課程・制度・法規』学文社、その他配付資料を使います。

【推薦書】斎藤喜博 『授業の展開（新装判）』 国土社

横須賀薫 『授業の深さをはかるもの』 教育出版

箱石泰和編 『授業 = 子どもとともに探求する旅』 教育出版

【参考図書】横須賀薫編 『授業研究用語辞典』 教育出版 他、教室で随時紹介します。

科目名	道徳教育 B		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校・高等学校の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」に対応するものである。

中学校一種の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

#### 科目の概要

道徳教育に対する一般的認識は、歴史的な影響もあって学習指導要領に定められた本質や理念とは、大きなずれがある。道徳教育が目指す人間観や教育観について正しく理解して指導に当たることが出来るように、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生相互の意見交換を大切に、常に自ら判断し行動できる人間を目指して向上しようとする態度を身につける。

#### 学修目標

- ・道徳教育とは何か、その意義や課題について考察し、道徳教育の本質や理念について正しく理解する。
- ・学校における道徳教育と道徳科の授業の果たす役割について理解し、「道徳科」の授業のあり方について考察する。
- ・「道徳科」の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する。

内容	
1	1 学習指導要領における道徳教育の位置づけ
2	2 社会規範としての道徳 道徳教育に関する一般的認識のずれ
3	3 現代社会における道徳教育の課題 青少年の問題状況・現代社会の道徳的問題
4	4 道徳の本質と道徳教育の意義 人間の存在構造と道徳教育・道徳の本質・理論的基礎
5	5 学校における道徳教育の基本構造 学校の社会的任務・道徳教育の目標と内容
6	6 学校の全教育活動における総合的展開
7	7 学校における道徳教育の運営と指導 道徳教育の指導計画・道徳科の時間の指導
8	8 「道徳科」の指導案と指導の諸方法 学習指導案の作成
9	9 学校における道徳教育の基礎 道徳における行為決定のしくみ・学校における道徳教育
10	10 学校における道徳科の授業 どんな資料で何をねらうか
11	11 これからの時代に要求される道徳教育 道徳教育をめぐる動向・道徳教育の新しい発想
12	12 「道徳科」の模擬授業の計画
13	13 模擬授業の実践(1)学生の選んだ主題
14	14 模擬授業の実践(2)学生の選んだ主題
15	15 模擬授業の評価とまとめ

#### 評価

レポート課題60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

## 授業外学習

【事前予習】教科書等の該当ページに目を通しておく。

【事後学修】本時の学習課題について自分の言葉でまとめをする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 遠藤昭彦、山口満編 『道徳教育と特別活動』教職教育講座 第4巻 協同出版  
文部科学省 『中学校学習指導要領解説 道徳編』 政府刊行物



科目名	特別活動 B		
担当教員名	松岡 敬明		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

教育職員免許法及び同施行規則に定められた教諭に関する科目のうち中学校・高等学校教諭免許取得に必要な「教育課程及び指導法に関する科目」に、また養護教諭免許取得に必要な「教育課程に関する科目」当たります。いずれも、中学校・高等学校教諭及び養護教諭の免許状を取得しようとする場合は、必修になります。

#### 科目の概要

特別活動は、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うことを目標としています。学習指導要領に示された特別活動の趣旨にそった指導ができるよう、指導案作成を念頭におきながら、具体的に考察します。

#### 学修目標 (= 到達目標)

- ・特別活動の意義や役割について考察し、特別活動の領域ごとの特色について理解する。
- ・学級活動の授業の進め方をはじめ、学級経営について考察し、指導の在り方を理解する。
- ・領域ごとの学習指導案を作成することができる。

#### 内容

1	オリエンテーション(授業の進め方と学修目標)
2	特別活動の目的と展開
3	特別活動の指導と評価
4	学級活動について(1)
5	学級活動について(2)
6	学級活動について(3)
7	生徒会活動について(1)
8	生徒会活動について(1)
9	学校行事について(1)
10	学校行事について(2)
11	学校行事について(3)
12	指導案の考察(1)
13	指導案の考察(2)
14	指導案の発表
15	まとめ

#### 評価

授業への参加度と毎時間提出する小レポート(40点)、指導案の作成・発表(60点)とし、総合評価60点以上を合格

とする。

#### 授業外学習

【事前準備】教科書の該当ページを読んでから授業に臨む。

【事後学修】毎回の授業後に、所定のレポートを提出する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中学校学習指導要領解説 特別活動編(文部科学省)

科目名	教育方法B		
担当教員名	安達 一寿、井口 磯夫、星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(K)-教職課程(K)		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

中高栄養・養護教諭を目指す学生のための教職教養科目 本科目は、中等教育の現場において必要とされる教育方法理論の基礎知識の獲得を目的としている。特に情報化社会における授業のあり方と、新しい教育実践を目指した教育方法を的確に捉えることにより、教員採用試験に直結する実践力を養う。

「教育方法の基礎理論に基づいた授業設計ができる」「情報化社会に対応した教育方法を実践できる」

#### 内容

1	教育の目的と方法(ガイダンス)(星野)
2	教育方法の基礎理論(星野)
3	学習理論の展開(星野)
4	問題解決学習の方法(星野)
5	学習形態と学習指導(星野)
6	教育課程の編成(星野)
7	授業設計の手順と教材研究(井口)
8	目標分析と評価問題の作成(井口)
9	学習評価の理論(井口)
10	「関心・意欲・態度」の評価、総合的な活動の評価(井口)
11	教授メディアの発達(安達)
12	ICTの授業における活用(安達)
13	情報化を意識した授業設計の考え方(井口)
14	総合課題(井口)
15	まとめ(井口)

#### 評価

1 授業ごとの課題提出(30%)

2 最終試験の達成度(70%)

とし、総合評価60点以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】教科書を読み、授業の概要を知る(2時間)

【事後学修】総合課題の見直し(1時間)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

- ・『自ら学び考える教職教養』松田・星野・狩野・津吹（学文社）
- ・『学習者のとむに取り組む授業改善』松田・星野・波多野（学文社）

科目名	教育方法B		
担当教員名	曾 賀		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、教育職員免許法施行規則で定められた科目の中で、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭の普通免許を取得するために、必修と定められた科目である。同施行規則で定められた科目には、「教育方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)」となっているが、コンピュータ等の操作技法については、高等学校まであるいは大学入学後に「情報処理演習」において十分に学習しているので、操作技法については行わない予定である。

本科目では、「方法・技術」を軽視したり、メディアや情報機器を活用することが「方法・技術」であるとしたりするものではなく、教師が身に付けている方法や技術はきわめて重要であると考えている。

「方法・技術」には、子どもの状態を見抜き、事態の先を見通す洞察力なども含んだ「教師力」そのものであると考えている。その意味において、教員を目指すものには必ず理解し、学修してほしい分野である。

#### 内容

- 1 教育の方法と技術(教育の方法・技術とは何か、子どもの学びと教師の方法・技術など)
- 2 授業が目指すものは何か(授業の方法・技術と子ども、子どもの固有性と方法・技術の創造性)
- 3 授業の構想と計画(構想と計画の基本的視点、指導案はどう書くか、指導案を支える教材研究)
- 4 指導案作成(実習課題)
- 5 教えることと支援すること(本気で教えること、学習支援と称して放置すること)
- 6 問いの創造と授業の展開(問いの発見から課題の成立へ、授業の構成と学習形態)
- 7 教材づくり・教材発掘の視点(教材づくり・教材発掘の視点、教材研究)
- 8 授業と教授メディア(教授メディアの変遷、授業はどのように変わるか)
- 9 コンピュータの利用(コンピュータと現代社会、コンピュータの教育利用の領域と教師の役割)
- 10 学習障害(LD)の理解と指導(学習障害の概念、LDの要因と理解、指導法)
- 11 特別支援教育と方法・技術(特別支援教育、Normalization, ADHD)
- 12 授業と教師(教師の力量、表現としての教師の身体、教師のことは)
- 13 教育評価の役割と方法
- 14 学力と教育評価の課題(予期しない学習の結果、教育的働きかけと評価、学力)
- 15 まとめ

#### 評価

評価は、授業態度(授業への参加度や、授業中の課題への取り組み状況)を10%、課題の提出状況と達成度を40%、最終試験の達成度を50%とし、総合的に行う。全体の60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行う場合があるので注意すること。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を読解し、内容を理解する。疑問点を析出し、追究する。

【事後学修】発表班の内容、班討論の内容等を省察し、振り返りのレポートを作成する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】松平信久・横須賀薫編『新訂教育の方法・技術』教育出版

【参考図書】横須賀薫編『授業研究用語辞典』教育出版，その他教室で紹介する。

科目名	道徳教育・特別活動論		
担当教員名	松岡 敬明		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

教育職員免許法及び同施行規則に定められた教職に関する科目のうち栄養教諭免許取得に必要な「教育課程に関する科目」に当たります。栄養教諭一種免許状を取得しようとする場合は必修に、また栄養教諭二種免許状を取得しようとする場合は選択必修になります。

#### 科目の概要

道徳教育は、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としています。また、特別活動は、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うことを目標としています。学習指導要領に示されたそれぞれの趣旨にそった指導ができるよう、具体的に考察します。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・道徳教育、とりわけ特別の教科である道徳科割について考察し、理解する。
- ・特別活動の領域ごとの特色について理解し、指導の在り方を考察する。
- ・道徳科及び特別活動の各領域の指導の在り方を理解し、それぞれの学習指導案を作成する。

内容	
1	オリエンテーション ( 授業の進め方と学修目標 )
2	学校における道徳教育の目標と意義
3	特別な教科「道徳科」の内容
4	道徳科の指導と評価
5	道徳教育推進教師の役割
6	特別活動の目的と展開
7	学級活動について ( 1 )
8	学級活動について ( 2 )
9	生徒会活動について
10	学校行事について ( 1 )
11	学校行事について ( 2 )
12	指導案の考察 ( 1 )
13	指導案の考察 ( 2 )
14	指導案の発表
15	まとめ

評価

授業への参加度と毎時間提出する小レポート（40点）、指導案の作成・発表（60点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】教科書の該当ページを読んでから授業に臨む。

【事後学修】毎回の授業後に、所定のレポートを提出する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編(文部科学省)

中学校学習指導要領解説 特別活動編(文部科学省)



科目名	保健科教育法		
担当教員名	門山 由美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は教員の免許状取得のための必修科目である。中学校・高等学校の保健科教諭の普通免許を取得するために定められた「教育課程及び指導法に関する科目」である。

小学校、中学校、高等学校の学習指導要領における保健科教育全体の教育課程を学ぶ。保健科教育の目標や内容を押さえ、教育実践に展開するための理論と実際を学ぶ。

学習指導要領に基づいて、学校教育における保健教育の役割を理解する。また、保健の授業を組み立て、保健学習を行うために必要となる基礎的考え方を習得する。

#### 内容

1	保健教育の意義と役割
2	保健教育の役割と教育課程の歴史
3	子どもの健康実態と保健教育
4	学習指導要領 ( 1 ) 小学校
5	学習指導要領 ( 2 ) 中学校
6	学習指導要領 ( 3 ) 高等学校
7	学習指導要領 ( 4 ) 特別支援教育
8	保健の指導計画
9	保健の単元計画 ( 1 ) 小学校中学年
10	保健の単元計画 ( 2 ) 小学校高学年
11	保健の単元計画 ( 3 ) 中学校
12	保健の単元計画 ( 4 ) 高等学校
13	保健教育の実践事例 ( 1 ) 中学校
14	保健教育の実践事例 ( 2 ) 高等学校
15	まとめ

#### 評価

授業内に出題する課題への解答を60点、筆記試験の得点を40点に換算して評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】課題発表を多く設ける。発表の準備 (個人・グループ) と予習が必要である。

【事後学修】学習した内容をまとめるために1時間程度の復習が必要である。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキスト: 文部科学省 2008 学習指導要領解説 (小学校体育編、中学校及び高等学校保健体育編)

参考書 : 適宜指示する

科目名	保健科教育法		
担当教員名	門山 由美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は教員の免許状取得のための必修科目である。中学校・高等学校の保健科教諭の普通免許を取得するために定められた「教育課程及び指導法に関する科目」である。

授業展開にそって単元指導計画と学習指導案を作成し、模擬授業の体験を通じて、実践的な指導力形成を目指す。

保健科教育法 で学習した知識と理論を踏まえて、また、保健科教育法 で学習した知識や技能を活用しつつ、教材研究や教材作成を行って、模擬授業を行う。

#### 内容

1	授業準備とは
2	保健教育の年間計画について
3	指導案作成 ( 1 ) 作成手順と方法
4	指導案作成 ( 2 ) 単元の目標理解と学習内容
5	指導案作成 ( 3 ) 教材研究
6	指導案作成 ( 4 ) 学習指導案の作成
7	教授技術 ( 1 ) 板書、発問
8	教授技術 ( 2 ) 机間指導、評価活動
9	模擬授業と授業分析 ( 1 ) 小学校中学年
10	模擬授業と授業分析 ( 2 ) 小学校高学年
11	模擬授業と授業分析 ( 3 ) 中学校
12	模擬授業と授業分析 ( 4 ) 中学校
13	模擬授業と授業分析 ( 5 ) 高等学校
14	模擬授業と授業分析 ( 6 ) 高等学校
15	まとめ

#### 評価

授業内に出題する課題への解答を60点、筆記試験の得点を40点に換算して評価する

#### 授業外学習

【事前予習】課題発表の機会を多く設定する。発表の準備 ( 個人・グループ ) と予習が必要である。

【事後学修】学習した内容をまとめるために1時間程度の復習が必要である。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキスト：文部科学省 2008 学習指導要領解説 ( 小学校体育編、中学校及び高等学校保健体育編 )

参考書：適宜指示する

科目名	保健体育科教育法		
担当教員名	高橋 京子、石山 隆之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

教員の免許状取得のための必修科目である。

#### 科目の概要

中学校の「保健体育 体育分野」の学習指導について授業の実践例をもとに授業のあり方を理解し、指導案を作成し、模擬授業を実施し、指導方法を学修する。

#### 学修目標 (= 到達目標)

中学校の「保健体育 体育分野」の学習指導についての基本的な考え方とその実際を理解し、その認識を深める。

#### 内容

1	体育の目標・内容の変遷をおさえ、現行の学習指導要領の内容を確認する。
2	運動の特性のとらえ方、体育学習の基本原則を確認する。
3	「A 体づくり運動」の領域の特性を押さえ、具体的な指導方法を学ぶ。
4	「B 器械運動」、「C 陸上競技」の領域の特性を押さえ、具体的な指導方法を学ぶ。
5	「D 水泳」、「E 球技」の領域の特性を押さえ、具体的な指導方法を学ぶ。
6	「F 武道」、「G ダンス」の領域の特性を押さえ、具体的な指導方法を学ぶ。
7	「H 体育理論」の領域の特性を押さえ、具体的な指導方法を学ぶ。
8	「A 体づくり運動」の模擬授業を実施し、指導方法を確認する。
9	「B 器械運動」の模擬授業を実施し、指導方法を確認する。
10	「C 陸上競技」の模擬授業を実施し、指導方法を確認する。
11	「D 水泳」の模擬授業を実施し、指導方法を確認する。
12	「E 球技」の模擬授業を実施し、指導方法を確認する。
13	「F 武道」の模擬授業を実施し、指導方法を確認する。
14	「G ダンス」の模擬授業を実施し、指導方法を確認する。
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み、授業ノートの作成50点、確認テストの結果50点とし、総合評価60点以上を合格点とする。

#### 授業外学習

【事前準備】次時の内容として示されたテーマについて、下調べをし、授業ノートにまとめる。

【事後学修】授業の内容を踏まえ、与えられたテーマについて小論文・指導案を作成する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中学校学習指導要領解説「保健体育」

科目名	保健体育科教育法		
担当教員名	高橋 京子、石山 隆之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

教員の免許状取得のための必修科目である。

#### 科目の概要

中学校の「保健体育 保健分野」の学習指導について授業の実践例をもとに授業のあり方を理解し、指導案を作成し、模擬授業を実施し、指導方法を学修する。

#### 学修目標 (= 到達目標)

中学校の「保健体育 保健分野」の学習指導についての基本的な考え方とその実際を理解し、その認識を深める。

内容	
1	保健科教育の変遷をおさえる。
2	現行の学習指導要領の内容を確認する。
3	保健授業を体験し、保健分野の授業の基本原則を確認する。
4	保健分野の教材研究 「保健教科書」の教材を検討する。
5	保健分野の教材研究 「保健教科書」の教材を検討する。
6	保健分野の教材研究 「保健教科書」の教材を検討する。
7	指導案作成のポイント、授業評価の方法を確認する。
8	指導案の作成 模擬授業を担当する単元の指導案を作成する。
9	指導案の作成 模擬授業を担当する単元の指導案を作成し、授業準備をする。
10	指導案の作成 模擬授業を担当する単元の指導案を完成し、授業準備を完了する。
11	模擬授業 「心身の機能の発達と心の健康」について模擬授業を実施する。
12	模擬授業 「健康と環境」について模擬授業を実施する。
13	模擬授業 「傷害の防止」について模擬授業を実施する。
14	模擬授業 「健康な生活と疾病の予防」について模擬授業を実施する。
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み、授業ノートの作成50点、確認テストの結果50点とし、総合評価60点以上を合格点とする。

#### 授業外学習

【事前準備】次時の内容として示されたテーマについて、下調べをし、授業ノートにまとめる。

【事後学修】授業の内容を踏まえ、与えられたテーマについて小論文・指導案を作成する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中学校学習指導要領解説「保健体育」

科目名	国語科教育法		
担当教員名	藤原 マリ子、星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

教員の免許取得のための選択科目。本科目では、中学校国語科の授業を行う際の基礎的な知識・技能の習得を目指す。後期の「国語科教育法」はその発展科目で、連携して一層の国語科教育の知識・実践能力の向上を図る。

#### 科目の概要

学習指導要領や指導理論について学んだ後、具体的な中学校国語科教材に即して、先行の優れた実践例を参考にしつつ指導案の作成や模擬授業を行う。実際に授業を担当する際の実践的な諸技法の基礎を身につける。

#### 学修目標

1. 中学校国語科教育の目標や内容、各分野の指導理論の大概を理解する。
2. 過去の優れた実践や理論を参考にし、学習指導案を作成する力を身につける。
3. 模擬授業等を通して、授業実践の基礎的技法を習得する。

内容	
1	ガイダンス
2	学習指導要領の解説
3	教材研究の方法、学習指導案の作成方法
4	「話すこと・聞くこと」の学習指導 ( 1 ) 指導理論の流れと実践例
5	「話すこと・聞くこと」の学習指導 ( 2 ) 教材研究演習
6	「書くこと」の学習指導 ( 1 ) 指導理論の流れと実践例
7	「書くこと」の学習指導 ( 2 ) 教材研究演習
8	「読むこと」の学習指導 ( 1 ) 指導理論の流れと実践例
9	「読むこと」の学習指導 ( 2 ) P I S A 型読解力の定義と実践例
10	「読むこと」の学習指導 ( 3 ) 説明的文章
11	「読むこと」の学習指導 ( 4 ) 意見文・評論
12	「読むこと」の学習指導 ( 5 ) 文学的文章
13	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の学習指導 ( 1 ) 散文
14	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の学習指導 ( 2 ) 韻文
15	まとめ

評価



毎回、授業時に提出するレポート類(3割)、演習発表(4割)、期末考査(3割)により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】予習。演習発表の際には、教材研究資料や学習指導案の作成が必要。

【事後学修】復習。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：『中学校学習指導要領解説 国語編』(文部科学省・東洋館出版社・148円)、『高等学校学校学習指導要領解説 国語編』(文部科学省・教育出版・313円)。

推薦書：適宜、授業中に紹介する。

科目名	国語科教育法		
担当教員名	藤原 マリ子、星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

教員の免許状取得のための選択科目。「国語科教育法」の学習を受け、国語科教育に関する一層の理解を深め、授業実践能力の向上を図る。

#### 科目の概要

国語科教育が抱える今日的課題や新しい学習指導方法について学んだ後、自己の創意工夫を活かした指導案の作成や模擬授業の実践を行い、実際に授業を担当する能力を培う。

#### 学修目標

1. 「国語科教育法」で学んだ基礎的知識・技能を基に、国語科教育の今日的課題や新しい学習指導法について理解を深める。
2. 学習指導案の作成や模擬授業を通して、授業実践能力の向上を図る。

#### 内容

1	国語科教育の今日的課題と新しい学習指導法について
2	単元の学習指導案と本時指導案について
3	模擬授業実践について
4	「話すこと・聞くこと」の授業実践 ( 1 )
5	「話すこと・聞くこと」の授業実践 ( 2 )
6	「書くこと」の授業実践 ( 1 )
7	「書くこと」の授業実践 ( 2 )
8	「読むこと」の授業実践 ( 1 ) 説明的文章
9	「読むこと」の授業実践 ( 2 ) 論説・評論
10	「読むこと」の授業実践 ( 3 ) 文学的文章
11	「読むこと」の授業実践 ( 4 ) 文学的文章
12	「伝統的な言語文化」に関する授業実践 ( 1 )
13	「伝統的な言語文化」に関する授業実践 ( 2 )
14	「国語の特質」に関する授業実践
15	まとめ

#### 評価

毎回、授業時に提出するレポート類 ( 3 割 )、演習発表 ( 4 割 )、期末考査 ( 3 割 ) により評価を行い、60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】予習。演習発表に際しては、教材研究資料および学習指導案の準備が必要。

【事後学修】復習

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：『中学校学習指導要領解説（国語編）』（文部科学省・東洋館出版社・148円）、『高等学校学習指導要領解説（国語編）』（文部科学省・教育出版・313円）。

推薦書：授業の中で適宜紹介する。

科目名	情報科教育法		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

教職に関する科目 ( 教育課程及び指導法に関する科目 )

- ・教育課程の意義及び編成の方法
- ・各教科の指導法

#### 科目の概要

初等中等教育における情報教育全体の教育課程について理解し、教科「情報」教育の意義について学ぶ。普通教科「情報」と専門教科「情報」の教育課程を理解するとともに、それぞれのカリキュラムの実際について学ぶ。以上の事柄を通して、教員としての専門知識・技術を育成する。

#### 学修目標

教科「情報」の指導のための学習指導案の立案ができることや、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度についての指導ができることを目標とする。また、ICT機器等を活用して、知識の定着や技能の習熟を図れる、児童生徒が授業や学習活動に必要なICTスキルについて指導できる技術を身につける。同時に、情報社会の倫理や法、自他の権利について理解、自他の安全や健康に関する理解、情報セキュリティに関して重要性の理解ができることや、地域・保護者と連携をとり、児童生徒の情報安全教育を進める意義を理解できることをねらいとする。

#### 内容

1	情報の意義や役割の理解 ( 1 )
2	情報の意義や役割の理解 ( 2 )
3	情報教育の全体像と目標
4	普通教科「情報」のねらいと教科 ( 1 )
5	普通教科「情報」のねらいと教科 ( 2 )
6	専門教科「情報」のねらいと教科 ( 1 )
7	専門教科「情報」のねらいと教科 ( 2 )
8	問題解決と演習の設計 ( 1 )
9	問題解決と演習の設計 ( 2 )
10	演習課題選択の観点
11	目標分析と年間指導計画の作成 ( 1 )
12	目標分析と年間指導計画の作成 ( 2 )
13	講義と実習の効果的な授業方法
14	グループワークの組織方法
15	まとめ

#### 評価

教材研究や模擬授業課題の状況、専門知識の習得状況などについて評価を行う。形式は、課題 ( 40% )、最終レポート (

60%)を総合して、60%以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】教科書該当箇所に目を通しておくこと

【事後学修】課題を出すので、その実施をおこなうこと

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【教科書】

文部省、高等学校学習指導要領解説 情報編

久野靖他、情報科教育法、オーム社

科目名	情報科教育法		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

教職に関する科目 ( 教育課程及び指導法に関する科目 )

- ・教育課程の意義及び編成の方法
- ・各教科の指導法

#### 科目の概要

初等中等教育における情報教育全体の教育課程について理解し、教科「情報」教育の意義について学ぶ。普通教科「情報」と専門教科「情報」の教育課程を理解するとともに、それぞれのカリキュラムの実際について学ぶ。以上の事柄を通して、教員としての専門知識・技術を育成する。

#### 学修目標

教科「情報」の指導のための学習指導案の立案ができることや、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度についての指導ができることを目標とする。また、ICT機器等を活用して、知識の定着や技能の習熟を図れる、児童生徒が授業や学習活動に必要なICTスキルについて指導できる技術を身につける。同時に、情報社会の倫理や法、自他の権利について理解、自他の安全や健康に関する理解、情報セキュリティに関して重要性の理解ができることや、地域・保護者と連携をとり、児童生徒の情報安全教育を進める意義を理解できることをねらいとする。

#### 内容

1	科目の性格と目標 ( 1 )
2	科目の性格と目標 ( 2 )
3	科目の性格と目標 ( 3 )
4	学習指導案と教材作成 ( 1 )
5	学習指導案と教材作成 ( 2 )
6	学習指導案と教材作成 ( 3 )
7	学習指導案と教材作成 ( 4 )
8	模擬授業 ( 1 )
9	模擬授業 ( 2 )
10	模擬授業 ( 3 )
11	授業評価と学習評価の考え方 ( 1 )
12	授業評価と学習評価の考え方 ( 2 )
13	授業評価と学習評価の考え方 ( 3 )
14	これからの教科「情報」
15	まとめ

#### 評価

教材研究や模擬授業課題の状況、専門知識の習得状況などについて評価を行う。形式は、課題 ( 40% )、最終レポート (

60%)を総合して、60%以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】教材研究をおこなうこと

【事後学修】事後の評価をおこなうこと

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【教科書】

文部省、高等学校学習指導要領解説 情報編

久野靖他、情報科教育法、オーム社

科目名	学校保健		
担当教員名	鈴木 雅子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

教育職員免許法施行規則による養護教諭の免許に必要な「養護に関する科目」に位置づけられる。学校教育における学校保健の意義、学校保健の仕組みの基礎的事項(特に保健管理)について理解することを目指す。学校保健において大きな役割を持つ養護教諭の活動について重点をおいて講義を行う。

#### 学修目標として

学校教育における学校保健の意義や機能について理解する。

学校保健における基礎的事項について理解する。

学校保健における養護教諭の役割を理解する。

以上3点をあげる

#### 内容

1	学校保健の意義と関連法規について
2	学校における疾病管理の実際について
3	慢性疾患のある児童生徒の疾病管理について
4	学校において予防すべき感染症について
5	学校における感染症の対応について
6	学校環境衛生の目的について
7	学校環境衛生の基準について
8	学校環境衛生の実施について
9	心身の健康課題への対応について
10	保健室経営と保健室経営計画について
11	学校における保健組織活動について
12	学校安全計画と安全管理について
13	学校管理下の事故・災害について
14	学校給食について
15	まとめ

#### 評価

筆記試験(講義中実施する5回の小テスト)8割、レポート1割、通常の授業態度1割により評価し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 次回の内容について課題を出す。1時間程度の予習が必要である。

【事後学修】 学修内容について1時間程度の復習(まとめ)が必要である。



教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】養護教諭のための学校保健＜第14版＞ 出井美智子他 少年写真新聞社

【推薦書】授業中に適宜示す

科目名	解剖生理学特論		
担当教員名	松葉 剛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

養護教諭免許取得のための必須科目として「解剖生理学」を広く標準的に学習した後に本科目を履修し、養護教諭が必要とする専門知識としての病態生理学について理解する。

#### 科目の概要

学校の健康診断に関わる疾患、学校感染症、アレルギー性疾患や、小児科領域の疾患のうち主に学童・思春期に罹患する疾患の病態について学ぶ。

#### 学修目標 (= 到達目標)

学校健診に関わる疾患の検査法と病態について理解する。

学校感染症の種類と症状、病態および法令について理解する。

小児科領域の疾患のうち主に学童・思春期に罹患する疾患の病態について理解する。

#### 内容

1	学校定期健診の検査・診察方法と疾患1 (身長・体重、栄養状態、体格)
2	学校定期健診の検査・診察方法と疾患2 (視力、色覚、眼、聴力、耳鼻咽喉科、皮膚、歯)
3	学校定期健診の検査・診察方法と疾患3 (結核、心臓、尿、寄生虫卵、その他)
4	学校感染症とその他の感染症
5	学童・思春期に罹患する疾患1 免疫、アレルギー、膠原病
6	学童・思春期に罹患する疾患2 循環器疾患
7	学童・思春期に罹患する疾患3 腎・尿路系疾患
8	学童・思春期に罹患する疾患4 消化器疾患
9	学童・思春期に罹患する疾患5 血液・腫瘍疾患
10	学童・思春期に罹患する疾患6 神経・筋・精神疾患
11	その他の小児の疾患1 新生児疾患
12	その他の小児の疾患2 遺伝性疾患・染色体異常
13	その他の小児の疾患3 代謝・内分泌疾患
14	その他の小児の疾患4 救急疾患
15	まとめ

#### 評価

最終講義の際に筆記試験 (80点満点) を実施し、講義への参加状況の評価 (20点満点) を加え、総合評価60点以上を

合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】解剖生理学でまなんだ各臓器の形態や機能について確認しておくこと。

【事後学修】講義でとりあげた各疾患について、病態生理を理解すること。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】ナーシング・グラフィカ 小児看護学 小児の疾患と看護 中村友彦・編 MCメディカ出版

【推薦書】看護のための最新医学講座 第14巻 新生児・小児科疾患 監修 日野原重明 中山書店

【参考図書】養護教諭講座 / 10 解剖学 生理学 監修 杉森守那 著 杉浦正輝 東山書房

科目名	救急処置活動		
担当教員名	齋藤 千景、布施 晴美、鈴木 雅子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

職職員免許法施行規則による養護教諭の免許に必要な「養護に関する科目」に位置づけられる。養護教諭として適切な救急処置活動をするための知識と技術を学ぶ。基本的事項を学習したのち、児童生徒に多くみられる、内科的・外科的な疾患に対する救急処置の方法を学習する。心肺蘇生法や止血法・包帯法などの演習を行う。学修目標は 学校における救急処置の手順を理解する。 各症状における救急処置の判断と処置の方法を理解する。 救急処置の基本的技術を習得する。

## 内容

1	学校で行う救急処置の基本的な考え方について【齋藤・鈴木】
2	救急処置の基本的な手順について1【齋藤・鈴木】
3	救急処置の基本的な手順について2【齋藤・鈴木】
4	学校で行う内科的症状に対する救急処置について (発熱・頭痛・腹痛など)【鈴木・齋藤】
5	学校で行う内科的症状に対する救急処置について (けいれん・熱中症など)【鈴木・齋藤】
6	学校で行う外科的症状に対する救急処置について (骨折・捻挫・打撲など)【鈴木・齋藤】
7	学校で行う外科的症状に対する救急処置について (頭部外傷・熱傷など)【鈴木・齋藤】
8	学校で行う外科的症状に対する救急処置について (眼科・耳鼻科・歯科など)【鈴木・齋藤】
9	保健指導と救急処置後の事務手続きについて)【鈴木・齋藤】
10	体位・R I C E 処置・止血法等 演習 【齋藤・鈴木】
11	三角巾法・包帯法等 演習【齋藤・鈴木】
12	三角巾法・包帯法等 演習【齋藤・鈴木】
13	包帯法・固定法等 演習【布施・齋藤・鈴木】
14	事例を用いた演習 【布施・齋藤・鈴木】
15	まとめ 【布施・齋藤・鈴木】

## 評価

試験 ( 筆記3割と実技7割で評価 ) を実施し60点以上を合格とする。60点に満たない者は再試を実施する。

## 授業外学習

【事前予習】【事後学修】学修した技術を確実なものにするために毎回の3時間程度の自己学習が必要である。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキスト：養護教諭のための救急処置 松野智子他 少年写真新聞社

推薦書：授業中に適宜示す

科目名	養護概説		
担当教員名	齋藤 千景		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

教職職員免許法施行規則による養護教諭の免許に必要な「養護に関する科目」に位置づけられる。学校保健、 の学習を基礎として、養護教諭が行っている職務内容を理解し、養護教諭として諸活動を実践する能力を養うことを目指す。学修目標は 学校保健における養護教諭の職務を理解する。 養護教諭の活動に必要な実践力を身につける。

#### 内容

1	学校教育・学校保健と関連法規について
2	養護教諭の歴史と職務内容の変遷について
3	養護教諭に関する法律・審議会答申について
4	養護教諭の職務について
5	健康診断の目的と計画立案について
6	健康診断の種類と測定方法について 1
7	健康診断の種類と測定方法について 2
8	健康診断の事後措置について
9	健康診断実施の工夫について
10	健康観察の目的・方法・事後措置について
11	健康観察の実際、実施の工夫について
12	子どもに多くみられる病気の理解と管理について
13	疾病の管理の実際について
14	養護教諭の行う健康相談について
15	まとめ

#### 評価

筆記試験 (小テストを含む) 8割、通常の授業の提出物及び授業の参加態度を 2 割として評価し、60 点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

#### 授業外学習

- 【事前予習】 毎回予習のための課題を出す。1 時間程度の予習が必要である。
- 【事後学修】 学習した内容をまとめるために 1 時間程度の復習が必要である。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書：新養護概説<第9版>編集代表 采女智津江 少年写真新聞社

科目名	教職演習		
担当教員名	齋藤 千景		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (K) - 教職課程 (K)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

教職職員免許法施行規則による養護教諭の免許に必要な「養護に関する科目」に位置づけられている「学校保健」の科目を中心に、これまで学んできた知識を基礎に据え、不足している知識を補いつつ、具体的な実施方法について演習を取り入れながら、養護教諭として求められる能力の向上を目指すものである。学修目標は これまで学んだ知識と技術を確認する。具体的な諸活動を立案し実践することができる。

内容	
1	学校で予防すべき感染症について
2	学校における感染症の対応の実際について
3	アレルギー疾患の理解と学校における対応について 1
4	アレルギー疾患の理解と学校における対応について 2
5	学校環境衛生の目的と法的根拠について
6	学校環境衛生基準と測定方法について 1
7	学校環境衛生基準と測定方法について 2
8	保健指導と保健学習の特質について
9	養護教諭が行う保健指導の進め方について
10	保健指導の実際と評価について
11	保健室経営と保健室経営計画について
12	保健室経営計画の作成と評価について
13	学校における保健組織活動について
14	学校安全と危機管理について
15	災害時等における心のケアについて まとめ

評価

筆記試験 ( 小テストを含む ) 9 割、通常の授業態度 1 割により評価し、60 点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】毎授業時に次回の子習のための課題を出す。1 時間程度の予習が必要である。
- 【事後学修】授業で学習した内容をまとめるために 1 時間程度の復習が必要である。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 教科書：新養護概説<第9版>編集代表 采女智津江 少年写真新聞社
- 推薦書：学校保健実務必携 第 3 次改訂版 第一法規